

なごみ



〒801-8550

北九州市門司区清滝1丁目3番1号

代表

電話 093 - 321 - 0984

FAX 093 - 331 - 7085

一般社団法人 日本海員掖済会

門司掖済会病院

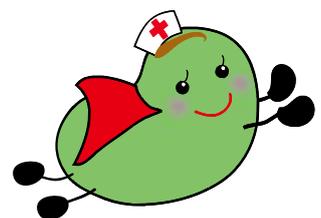
糖尿病に合併する腎病変の概念が変わってきました

副院長 ありむら よしひで
腎臓内科 有村 美英

戦後70年が過ぎ、今や国民病といえるほどに糖尿病の患者数が増えています。糖尿病には様々な合併症がありますが、その経過の中で腎病変を合併することがあります。典型的には、最初は僅かなアルブミン尿から始まり、徐々に明らかな蛋白尿を呈し、腎機能が低下し、最終的に末期腎不全に至り透析療法が必要となる疾患概念で、糖尿病(性)腎症と呼ばれていました。

しかし、近年では典型的な経過をたどらない、糖尿病に起因する腎障害が増加しています。蛋白尿を呈さず腎機能障害のみを呈する例もあり、現代の糖尿病による腎障害の病態をもっと包括的に捉える必要が生じました。そのために、「糖尿病性腎臓病(Diabetic Kidney Disease): DKD」という考えが提唱されています。DKDは「腎障害の病態に、糖尿病が部分的にでも関与しているもの」です。糖尿病単独でなくとも、肥満、脂質異常、高血圧、動脈硬化という糖尿病に合併しやすい病態、あるいは加齢の影響を全て含みます。更にDKDは糖尿病(性)腎症・その他の腎炎の併発を含んだ概念です。これに対しDKDに対する基本的な治療戦略は変わりません。血糖・血圧・脂質など是正可能な部分に踏み込み、少しでも腎機能悪化の予防を試みることとなります。

DKDの重要な点として、蛋白尿が陰性、ないし軽度でも進行の早い病型があることが報告されています。今までの医療では蛋白尿の多寡をそのまま腎不全リスクの高低と結び付けてきましたが、蛋白尿だけでは早期DKDの発生を十分に説明できないことも明らかになりつつあります。いろいろな症例を経験するたびに、一層気を引き締めねばならないと感じる今日この頃です。



栄養指導を受けてみませんか



主治医から「食べ過ぎ！」「栄養指導を受けたほうがいい」と言われたことはありませんか？
「面倒だな～」で受けていない方！ たとえば、こんなこと思っていないませんか？！

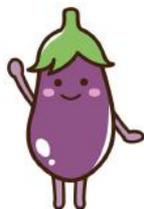
きちんとした食生活は難しいから、とりあえず「青汁」飲んでおこう・・・

管理栄養士から一言！

NO!



腎臓機能が落ちている方の場合、「青汁」は飲まない方がいいです。その理由は、「青汁」に含まれるカリウムが多すぎるので、そんな方は高カリウム血症になりやすいからです。



栄養指導では 管理栄養士が何をどれくらい食べたらいいいのか、食品の選び方や調理の工夫などを皆さんの病気やライフスタイルにあった方法で提案させていただきます。食生活に不安がある方や食事療養が必要な病気の方、ぜひ一度 栄養指導を受けてみませんか？！



当院受診中の方へ 栄養指導を受けようと思ったら・・・

- 1 主治医に希望を伝える
- 2 次回の診察日に栄養指導の予約
- 3 診察の待ち時間に30分ほど栄養指導...となります

健康診断で食生活の改善やダイエットが必要といわれた方は・・・

当院では「特定健診(北九州国保)後の保健指導」も管理栄養士が行っています。当院検診センターにお問合せください。

代表電話 093(321)0984
平日 14時～16時



第76回

門司みなと祭

門司みなと祭は、あの『海賊とよばれた男』のモデルとなった、出光佐三氏(当時門司商工会議所会頭)の音頭により昭和9年に第1回が開催されました。当時は三日間盛大に開かれたようです。現在では、町中心に行われており、門司みなとまつり実行委員会の皆様のご尽力により今年で76回を数えました。

色々な会場で様々な行事が行われましたが、当院では今年も栄町商店街での「総おどり」に参加させていただきました。土曜日の夜、銀天街アーケード内を17団体、約700人が練り歩きながら踊りました。事前練習の成果を発揮でき、新入職員も楽しく踊れたようです。今後も門司の発展を願い、盛り上げていきたいと思っております。

